

社会福祉法人 不動園 のぞみこども園 教育及び保育の内容に関する全体的な計画 令和6年度

<b>法人基本理念(保育理念)</b>		<b>感動そして共感と信頼</b>		保護者や子どもから信頼され、安心して預けられ安全に過ごせる保育園を目指す。個々の子どもの成長を喜ぶ。			
教育及び保育の目標		心身共に健やかに育ちながら 将来社会の一員として 生活していくための土台となるいろいろな能力や 豊かな人間性が身につくよう 一人ひとりを 受けとめ育む教育・保育を目指す。					
目指す子どもの姿		○心身共に健康な子ども ○思いやりのある子ども ○自分で考えて行動できる子ども ○元気よく友達と遊ぶ子ども ○興味・関心・意欲を持つ子ども					
教育・保育に置いて育みたい資質能力		①豊かな体験を通じて、感じたり、気づいたり、分かったり、できるようになったりする (知識及び技能の基礎) ②気づいた事やできるようになった事などを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする (思考力、判断力、表現力等の基礎) ③心情、意欲、態度が育つ中で、より良い生活を営もうとする (学びの向かう力、人間性)		幼児期の終わりまでに育ってほしい姿		①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現	
概ね6ヶ月未満		概ね6ヶ月から1歳3ヶ月未満		概ね1歳3ヶ月から2歳未満		概ね2歳	
概ね3歳		概ね4歳		概ね5歳		概ね6歳	
発達 の 姿		・座るから歩くへ ・活発な探索行動 ・愛着と人見知り ・言葉の芽生え ・離乳の開始		・一語文から二語文へ ・言葉の習得 ・行動範囲の拡大 ・周囲の人への興味・関心		・二語文から多語文 ・依存と自立 ・基本的な運動機能 ・自己主張	
・著しい発達 ・生理的微笑から 社会的微笑へ		・身近な環境への関わり ・想像力の広がり ・全身のバランス ・自己主張と他者の受容 ・葛藤の経験		・基本的な生活習慣の確立 ・運動機能の高まり ・目的ある集団行動 ・思考力の芽生え ・仲間の中の1人としての自覚		・思考力と自立心の高まり ・巧みな全身運動 ・自主と協調の態度 ・図形・数量・文字への関心 ・道徳心・規範意識の芽生え	
0歳		1歳		2歳		3歳	
4歳		5歳		6歳		7歳	
保育目標		・安心できる保育者との関係の中で、身近な人や身の回りの物に親しみ、自ら関わりを持つとする。		・つもり遊びやごっこ遊びを楽しむ中で、身近な人との関わりを広げる。		・保育者や友だちと遊ぶ中で、自分の好きな遊びが見つかり遊びを深める。	
・保育者や友だちと一緒に遊びながら繋がりを広げ、集団としての行動ができるようになる。		・生活や遊びの中で1つの目標に向かい力を合わせて活動し、達成感や充実感をみながら味わう。					
生命の保持		生理的欲求の充実を図る		生活リズムの形成を促す		適度な運動と休息の充足を図る	
情緒の安定		応答的な触れ合い情緒的な絆を形成する		温かなやり取りによる心の安定を図る		自我の育ちを受容し共感する	
健康 伸びか 伸びか 伸びか と 育 つ		○生活リズムを安定させ、生理的・依存的な欲求を満たされ生命の保持・生活・情緒の安定をはかる。 ○全身運動(座る・這う・立つ・つたい歩き・一人歩き)や探索遊び(登る・下りる・くぐる・押す・引っ張る)など発達に応じて自ら身体を動かそうとする意欲を持つ。		○明るく伸び伸びと生活し、情緒の安定を図る。 ○全身運動(歩く・転がる・たかばい)、感覚運動(上る・下りる、押す・引く、逃げる・追いかけるの繰り返し)を楽しむ。 ○手指を使った遊び(つまむ・積む・引っ張る・こねる)を充分に楽しむ。		○保育者に見守られる中で簡単な身の回りのことを自分でできるようになる。 ○道具や運動器具などで遊ぶ事を楽しみ、走る・跳ぶ・登る・押す・引っ張るなど、様々な身体の動きを獲得していく。 ○自己主張をしっかり受け止めてもらうことで、少しずつ気持ちを切り替えたり、折り合いをつけたりできるようになる。 ○保育者や友だちのしていることに興味を持ち、同じ遊びをしたり一緒に行動したりすることを楽しむ。 ○挨拶や、自分でしたいこと、してほしいことを言葉や表現で伝えようとする。	
ね ら い ・ 内 容		○受容的・応答的な保育者との関わりを通して、気持ちの通う心地よさを十分に感じ、信頼関係の基礎を培う。 ○応答的な保育者との関わりによって、喃語や言葉が豊かになり、身振りや指さしても気持ちを通わせようとする。 ○自然物(砂・水・泥)やさまざまな素材・生活用品・玩具・手作り玩具(ぼろぼろ落とし・ひっぱりおもちゃ・積木・布など)や絵本などに興味や関心を持ち、見たり、触ったりして、指先を使った遊びを楽しむ。 ○保育者の歌や手遊びに体を動かして楽しむ。		人間関係 言葉 環境 表現		○生活習慣が身につく自分で出来ることは自分で進んでしようとする。 ○全身を使って遊びを繰り返し、楽しむことで身のこなしが巧みになっていく。 ○自分の好きな遊びを十分に楽しみながら、友だちと関わって遊ぶ楽しさを知る。 ○友だちと同じ遊び(集団遊びなど)に参加し、みんなと一緒にすることを喜ぶ。 ○保育者に介介してもらいながらも、友だちにも同じ思いがあることに気付く。 ○自分が思ったことや感じたことを保育者や友だちに自分なりの言葉で伝える。 ○自分が思ったことや感じたことを保育者や友だちに自分なりの言葉で伝える。 ○ごっこ遊びの中で、保育者や友だちと一緒に言葉のやりとりや表現しながら遊ぶことを楽しむ。 ○身近な動物や自然に関心を持ち、見たり触れたりすることを喜ぶ。 ○さまざまな造形遊びや音楽あそび、運動あそびで自分なりに表現することを喜び、意欲的に取り組む。 ○身近にあるいろいろな素材や用具に親しみ、イメージや思いを自分なりに描いたり、作ったりすることを楽しむ。 ○歌や簡単な合奏をみんなでする楽しさを味わう。	
園の特徴		●月曜～土曜 7時～19時の保育 ●園バスによる園外保育(2歳児・おおよそ隔週、3～5歳児・週1回)：行き先 太陽が丘、鴻巣公園、八幡市民スポーツ公園、大吉山、久御山中央公園、市内各地の公園) ●安田式運動遊び ●HANA音楽研究所による音楽あそび					
年齢		0歳		1歳		2歳	
3歳		4歳		5歳		6歳	
食育 (食を営む 力の基礎)		・ゆったり落ち着いた雰囲気の中で、食べる喜びを味わう。 ・色々な食べ物を、見る・触る・味わうことを楽しみ、自分で食べたいという気持ちを大切にしながら楽しく食べる。		・ゆったりした雰囲気の中で、食べる事を楽しむ経験を積み上げる。 ・手づかみになりながらもスプーンを使って自分で食べようとする。 ・咀嚼を促し、よく噛んで食べる習慣を身につけ自分から食べようとする意欲を育む。		・ゆったりした雰囲気の中で、友だちと一緒に楽しく食事をする。 ・いろいろな食材に触れ、味わいながら関心を高める。また、スプーンを使って自分で食べようとする。 ・よく噛んで食べる習慣を身につける。	
		食物アレルギーのある子どもへの対応については、医師の指示のもとに適切に対応する					
発達支援		○配慮を必要とする園児の実態や特徴の把握を行うとともに、個々の指導計画を作成する(3期に分けて計画を立てる)。 ○指導計画に対しての振り返りを各期ごとに行う(あゆみ)。 ○各療育施設や宇治市保健推進課、保育支援課と連携し共通認識を持つとともに、その都度、支援計画の見直しをする。 ○常に保護者とはコミュニケーションを図り、支援についての共通理解を行う。 ○就学前には、就学先の学校に、成長や発達について丁寧に繋げる。		家庭との連携		○園と家庭との、日々のコミュニケーションを通し、信頼関係を育む。 ○個々の子どもの発達、家庭環境などの共通理解を通して、子どもの成長の土台となるいろいろな能力や豊かな人間性が育まれるように家庭と協力する。 《方法》 ○送迎時の対話 ○連絡帳 ○園だより ○各クラスのドキュメンテーション ○個人懇談会(幼児組) ○クラス懇談会(年2回) ○子育て相談(随時) ○発達相談(随時)	
保 健		保健目標		健康支援			
		○園生活のリズムを身につける ○自分の体に興味を持つ ○元気いっぱい体を動かして遊ぶ ○怪我なく安全に過ごす ○風邪や感染症を予防する ○自身の成長を振り返る		○内科健診・歯科検診(年2回) ○尿検査(年2回) ○身体測定(毎月実施、記録はグラフ化表示) ○発育・発達の状態把握 ○登園時及び保育中の状態把握、また異常が認められた時の適切な対応 ○年1回職員健康診断			
安全教育		○園内での安全な生活の仕方 ○安全な道具・用具の使い方 ○交通安全についての約束 ○水遊びの約束 ○避難訓練(火災・地震・不審者対応) ○園外保育での安全な過ごし方		安全対策 事故防止		環境・衛生管理	
		○毎月の避難訓練(火災・地震・大雨洪水)、及び消火・通報訓練 ○不審者対応訓練 ○プール監視講習、救助訓練 ○救命講習(随時) ○防犯カメラ設置 ○オートロック式通用門 ○安全・防火状況の点検 ○消防点検 ○園内安全点検(月1回) ○危機管理マニュアル徹底、随時見直し		○毎月の衛生点検(玩具・施設内) ○室内・玩具の徹底清掃 ○その他の園内清掃の徹底(エアコン・空気清浄機等含む) ○感染症対策の徹底(オゾン消毒の実施・食器消毒の徹底) ○害虫駆除			
家庭との 連携		○園と家庭との、日々のコミュニケーションを通し、信頼関係を育む。 ○個々の子どもの発達、家庭環境などの共通理解を通して、子どもの成長の土台となるいろいろな能力や豊かな人間性が育まれるように家庭と協力する。 《方法》 ○送迎時の対話 ○連絡帳 ○園だより ○各クラスのドキュメンテーション ○個人懇談会(幼児組) ○クラス懇談会(年2回) ○子育て相談(随時) ○発達相談(随時)					
小学校との接続		○教育相談 ○就学に向けての連絡会 ○指導要録の送付 ○1年生授業参観 ○保幼小連絡会					
地域との連携		○宇治市保育支援課との連携 ○宇治市こども福祉課(家庭相談)及び児童相談所との連携 ○実習生の受け入れ ○中高生の職場体験。インターンシップ受け入れ ○地域防災訓練参加 ○園行事に地域の方招待 ○地域の横福祭りに参加 ○高齢者施設への訪問 ○世代間交流(伝承あそび等)					
子育て支援		○「のぞみひろば」月4回開催時、園庭あそび(砂・泥んこ・みずあそび等)運動遊び、絵本読み聞かせ、制作等、子どもとの遊び方や関わり方を保育教諭が実践しながら伝える(園庭開放)。 ○子育ての悩みや不安を気軽に話せる場作り(育児相談)。 ○園内行事への案内					
研修計画		○京都市キャリアアップ研修 ○園内研修(運動遊び実技指導・研修 年4回、音楽あそび実技指導 年3回) ○法人内 福祉職員研修 ○法人内スキルアップ支援制度(人事考課) ○新人育成プログラム		自己評価		○法人施設による適切な施設運営管理の評価 ○年度末の全体総括と次年度への反映 ○スキルアップ支援制度による自己評価・人事考課 ○保育教諭の自己チェックリストの実施、人権擁護のためのセルフチェック実施	

